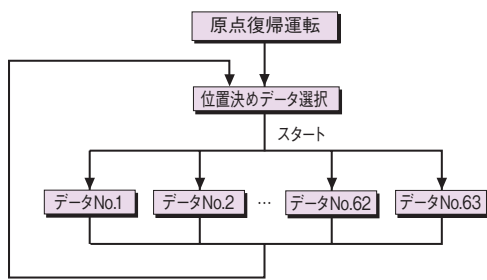
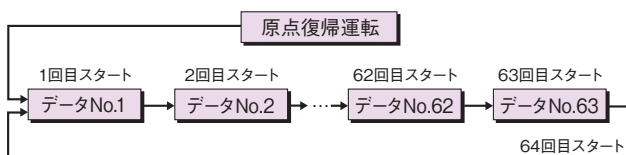
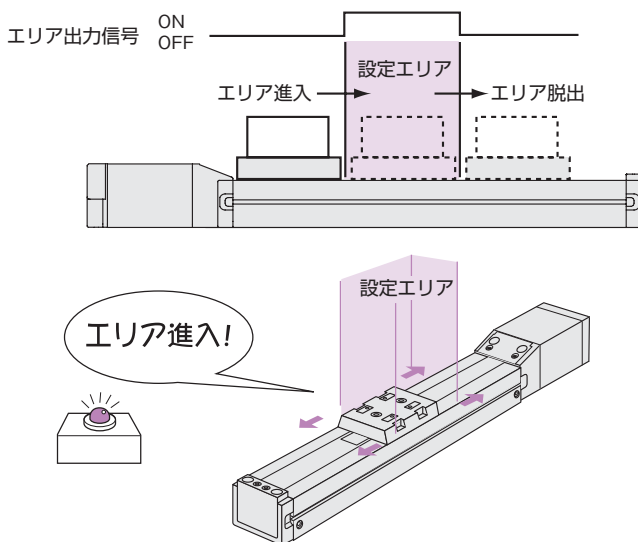
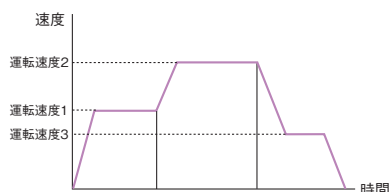
●選択位置決め／順送り位置決め 2種類のデータ実行方式

◇選択位置決め方式

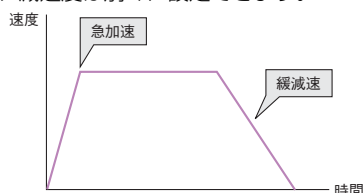
設定したデータをランダムに選択できます。

◇順送り位置決め方式

任意のデータから順番に位置決め運転をおこないます。

●エリア出力機能

ストロークの間で自由に範囲（エリア）を設定し、その範囲にスライダテーブルが進入すると信号を出力します。範囲指定（エリア）は、1カ所（1エリア）のみです。

●連結運転が可能

4点までの運転データを連結することができます。スライダの動きを停止させずに速度を変えることができます。

●連結が設定できる運転データは同一方向の場合に限ります。

●加速度／減速度を別々に設定可能

使用条件ごとに4パターンの加速度、減速度の設定が可能です。また、加速度、減速度は別々に設定できます。

●2つの原点復帰方法を選択可能

◇センサレス原点復帰（EZSⅡシリーズ/EZSⅡシリーズ クリーンルーム対応のみ）

原点センサなしで原点復帰をおこないます。原点位置、原点復帰速度（最大100mm/s）は調整することが可能です。また、原点復帰方向を変更することもできます。

◇センサを使用しての原点復帰

原点センサを使って原点復帰をおこないます。
EZSⅡ/**EZSⅡ**クリーンルーム対応/**ESR**シリーズのセンサはオプション（別売）でご用意、**SPV**シリーズは付属しています。

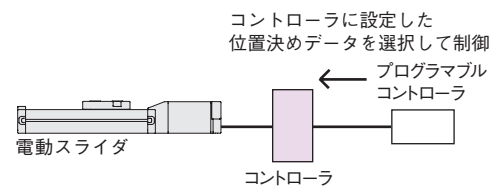
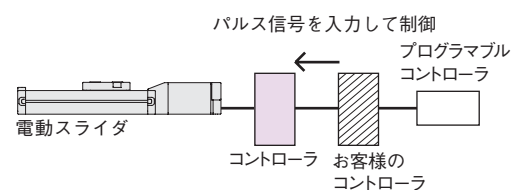
●センサセット→F-196ページ

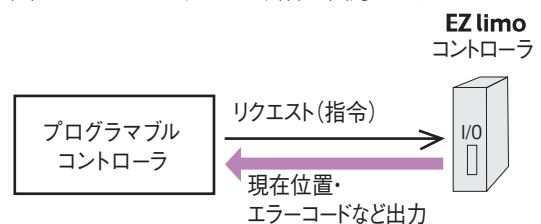
●外部パルス信号による制御が可能

お客様が使い慣れたお持ちのコントローラから、パルス信号で制御するドライバとしてもご使用いただけます。

	コントローラモード	ドライバモード
ティーチング機能	●	×
モニタ機能	●	×
エリア出力機能	●	×
アブソリュート仕様	●	●
センサレス原点復帰	●	●
センサによる原点復帰	●	●*

*ティーチングペンダントまたはデータ編集ソフトによる設定が必要になります。

●通常のシステム構成［コントローラモード］

●お客様のコントローラとご使用の場合［ドライバモード］

●現在位置・エラーコードなど出力

現在位置・エラーコードなどを外部に出力します。

●速度フィルタ

起動停止時の動きを滑らかにしたり、低速運転時の振動を低減するなどの目的で使用します。急激な速度指令の変化に対しても、モーターの速度変化が大きくならないように制御する機能です。デジタル設定（1～100）で調整できます。数字を大きくするほど動きは滑らかになりますが、指令に対する同期性は悪くなります。

〈速度フィルタによる特性の違い〉